フリーペーパーHoo-JA!　2011年1月29日号(VOL.154)掲載

新居浜弁 最高!? 再考 PART 5
「白雪姫」を、新居浜弁で語ってみると…

みんなー、これ待ちよったんだろ〜?。丸1年ぶりじゃけど、今回は「白雪姫」に挑戦じゃけん。もう使わんようになった言葉もあるんじゃけど、最近越してきた人らは、これ読んで新居浜弁覚えてんよ。西条の人も、たいがい分かると思うんじゃけど…。

昔のー「白雪姫」いう べっぴんのお姫さんが おったんよ。
むかしむかし、白雪姫という 美しいお姫様がいました。

継母の王妃も、まあまあ こぎれいに しとったけん
(白雪姫の)継母である王妃も、それなりに美しかったので

ひしてじゅう 魔法の鏡に 言よったわね。
1日中、魔法の鏡に向かってこう言っていました。

「鏡さん いっちゃん べっぴんさんは 誰ぞいね〜?」
「鏡さん、世界で一番美しいのは誰?」

「ほりゃ、あんたじゃわね〜」
「それは あなたです」

鏡に そなん言われながら あんきに 暮らしよったんよ。
鏡にそんなことを言われつつ、毎日を不自由なく暮らしていました。

白雪姫が 7つんなったじぶんに 王妃は魔法の鏡に
白雪姫が7歳になった頃、王妃は魔法の鏡に

いっつもみたいに 聞いたんよ。
いつものように聞きました。

「鏡さん、いっちゃん べっぴんは 誰ぞね〜?」
「鏡さん、世界で一番美しいのは誰?」

「ほーじゃねぇ 今じゃったら、白雪姫じゃね〜」
「そうですね、今でしたら 白雪姫です」

鏡も本当のこと ぽんぽん 言うけん。
鏡は本当のことを遠慮なく言いました。

そんなん言われて 怒ったんは やねこい 王妃よ。
そんなことを言われて怒ったのは、ずる賢い王妃でした。

「はがいたらしい子ぉじゃ! むねくそわるい!」
「はがゆい子(白雪姫)だわ。(私は)気分が悪いわ!」

王妃は 世話しよる猟師を 呼びつけたわね。
王妃は(自分が)面倒を見ている猟師を呼びました。

「白雪姫を 森連れてって ぶちくらしてきてんや!」
「白雪姫を森に連れて行き、やっつけてしまいなさい!」

猟師は なんぼ何でも「べーじゃ」ゆうては 王妃には言えんけん
猟師は、いくらなんでも「それはできません」と、王妃には言えないので、

しゃーなしに 白雪姫を 森に連れていったわね。
しかたなく白雪姫を森に連れ出しました。

ほやけど かわいそうな思て どーちゃあせんと
しかし、(白雪姫を)かわいそうに思い、なにもせずに

白雪姫だけを ほたくって 猟師は とばくれてきたんよ。
白雪姫だけを森に置き去りにして、猟師は一目散に逃げて来ました。

帰りしなに捕まえた イノシシの肝を 王妃んとこ
帰る途中に捕まえたイノシシの肝(内蔵)を王妃のところに

持っていんだら 王妃は 白雪姫の肝じゃ思て 喜んでの。
持って帰ると、王妃は白雪姫の肝(内蔵)と思い、(白雪姫は死んでしまったと思い)喜びました。

「こんで うちが いっちゃん べっぴん じゃけん!」
「これで私が世界一美しくなったわ!」

そりゃ さいあがっとったわね。
それはそれは調子に乗る王妃でした。

森ん中に 置いてかれて てこずっとんのは 白雪姫よ。
(その頃)森の中に一人にされ、困っているのは白雪姫でした。

ほんでも どくれんと 迷いまくって
それでも、やけを起こさず冷静に、道に迷いながらも

どうばり こうばり こまい家に たどり着いたんよ。
なんとか小さな家にたどり着きました。

せばくるしい家ん中 入ってみたらの
とっても狭い家の中に入ってみると、

7つのこまいお皿に おごっつぉさんがあるんよ。
7つの小さなお皿に、おいしそうな料理がありました。

白雪姫は かつれとったけん あるもん かいこんで
白雪姫はとてもお腹を空かせていたので、目の前にある料理を食べまくり

腹一杯じゃ ゆーて そのまま ひとくち 寝てしもたわね。
「もうお腹いっぱい」と、そのまま 軽い睡魔に襲われ、眠ってしまいました。

ほしたら 7人の小人らが 仕事おいて もんてきた。
しばらくすると、7人の小人たちが仕事を終えて、帰って来ました。

小人らは、なんぞ 家がおかしいんに 気づいての。
小人たちは何か家の様子がおかしいことに気付き、

「家ん中、だれぞ おるんじゃないんか?」
「家の中に誰かいるんじゃないのか?」

「泥棒やったりしての〜」
「泥棒じゃないのか?」

「ほんまけや!?」
「そんなバカな!?」

みんなで 勢いよーに
全員で勢いよく

「せいのっ! そりゃ!!」ゆうて 戸ぉ開けて
「せいの〜」のかけ声とともに、ドアを開けて、

家入ったら ほりゃ 食い散らかしとろー。
家の中に入ってみたら 少しは残っているものの、料理を食べられている様子…。

「よい、誰がわしらの飯 食うたんぞ!」
「おいっ! 誰が僕たちの食事を食べたんだ!!」

小人らは きょろさい じゃけん 大騒ぎしよったら
小人たちはみんな落ち着きがないので、そこで大騒ぎになりました。

寝そべっとる 白雪姫見つけて たまげてしもた。
しかし、眠りにつく白雪姫を見つけて、びっくりしてしまいました。

「よいよい このべっぴんさん だれぜや?」
「おい、この美しい人は誰だろう?」

「しんどげーなけん このまましといたろ…」
「なんだか疲れているようだから、このままにしておこう…」

それから白雪姫は ちょこまい7人に よせてもろて
それから白雪姫は小さな7人の仲間に入れてもらって、

一緒に住むようにしたんよ。
一緒に暮らすようになりました。

Ⓒ フリーペーパー Hoo-JA!
株式会社ホージャクリエイト

ほの頃 王妃は しょーこらんと 鏡に聞きよるわね。
その頃、王妃は性懲りも無く、やはり鏡に向かって聞いていました。
「いっちゃん けっこな おなごは 誰で〜?」
「鏡さん、世界で一番美しい女性は誰?」
ほしたら 鏡はゆーたわね。
そうすると、鏡はこう言いました。
「7人の小人と 暮らっしょる 白雪姫じゃわ」
「7人の小人と一緒に暮らしている白雪姫です」
王妃は、たまげての。白雪姫は とーに 猟師が
王妃は驚きました。白雪姫はすでに猟師が、
森の中で どくらっしゃげた 思とったけん。
森の中でやっつけてしまったと、思いこんでいたからです。
おげくそわるい 王妃 じゃけん
性格が悪く、とんでもない王妃ですので、
白雪姫を どいよにしたろか おもて
白雪姫をなんとかしてしまおうと思い、
毒リンゴこさえて おばやんに化けて 森に行ったわね。
毒リンゴを作って、おばあさんに化けて、森へ行きました。
「べら おいしい リンゴ いらんで〜?」
「とってもおいしいリンゴ、ありますよ。食べませんか〜?」
おばやんが また うまげーに言うんよ。
おばあさんは、それはそれは口達者に言うのです。
「ばら おいしそーなね〜!」
「本当!! ものすごくおいしそう!!」
白雪姫は小人らに言われとった。
白雪姫は小人たちにこう言われていました。
「わしらが おらん時は 絶対 鍵 開けられん!!」
「僕たちがいない時は、絶対にドアの鍵を開けたらだめだよ!!」
んじゃけどの リンゴが おいしそーなかったけん、
それでも、そのリンゴがあまりにもおいしそうだったので、
ついつい 開けてしもて リンゴを ちょびっと よばれたんよ。
ついに鍵を開けて(外に出て)、リンゴをほんのひとくち、いただきました。
とたん、ばたーん いてしもて…。
その瞬間、白雪姫は倒れてしまいました。

ばんげに 小人らが もんてきて 白雪姫が倒れとるん見て
夕方になって、小人たちが帰って来ましたが、白雪姫が倒れているのを見て
「えらいこっちゃ!!」ゆーて ほんで ゆさくったり
「大変だ!!」と言いました。そして体を揺すぶったり
あずって 薬飲ませたけど どうぞしても あかだったん。
苦労して、薬を飲ませたりはしましたが、何をしても生き返りませんでした。
小人らは 白雪姫を ガラスのお棺に入れてもうて
小人たちは白雪姫をガラスの棺(ひつぎ)に入れて
みな「なんででや!!」ゆーて おいおい 泣きよったわね。
小人たちは「なんでこんなことになるんだ!!」と言い、泣き崩れていました。
ほこへ 王子が通りかかっての。
その場所へ、王子が通りかかりました。
王子は めざといけん べっぴんの白雪姫に 気ぃ付いてもーた。
王子は(美しい女性には)見る目が鋭いので、とても美人の白雪姫に、すぐ気が付きました。
「この べっぴんさんは わしが ちゃーんと 葬るけん」
「この美しい女性は、私が責任を持って葬送しますから…」
ゆうて 小人らから お棺ごと もろたんよ。
そう言って、小人から亡きがらを棺ごと、譲り受けました。
ほんで 家来に白雪姫の棺を 運ばせよったんじゃけど
そして、家来に白雪姫の棺を運ばせていたのですが、
家来のひとりが 木ぃに けつまずいての。
家来の一人が木(の根っこ)に、足を引っかけて、つまずいてしまいました。
お棺が揺れたけん、白雪姫が えずいて げぇあげたら
そのため、棺が揺れてしまい、白雪姫は(その)ショックで吐き気を催し、(最後には)嘔吐して
喉に詰まっとった リンゴが うまいがい でてきて
喉に詰まっていたリンゴを、うまい具合に吐き出して
生き返ったんよ。ほんで 言うたわね。
(白雪姫は)生き返りました。そして こう言いました。
「ありゃ〜? 寝よったんかいね〜」
「あらっ? 私は寝ていたのかしら…」
王子は喜んで ほんで これまでのことを あらかた言うて
王子は大変喜びました。そして、これまでの経緯を全部話して、
最後には「結婚しょーや」言うんじゃけん… やるわね。
最後に「結婚しよう」と言いました…。 なかなか王子様もプレイボーイですね。
ほんで二人は結婚して 幸せに暮らしたんじゃと。
そうして二人は結婚して、幸せに暮らしました。

※白雪姫が王子様のキスで目をさますパターンが有名ですが、今回はこちらのエンディングで。

【本文内 赤文字 の解説】

ぽんぽん	遠慮なく、はっきりものを言う場合の副詞
べーじゃ	「嫌」「嫌だ」など、断る場合に使用。「あっかんべー」の舌を出す様からきている?
さいあがっとった	さいあがり = 調子に乗る。「お調子者」の名詞としても使用。さいあがとった=調子に乗っている様子。
おごっつぉさん	豪華な料理。お御馳走が「おごっつぉ」、さらに敬意を表して「さん」付け。
きょろさい	落ち着きない人、慌て者。場違いなところで騒ぐ子どもをさす場合も。きょろきょろする人が語源か?
べら	「とっても」の意味。使用例:べらすごい。
うまげーに	この場合「リンゴがうまい(美味しい)」の意味ではなく、その人の言い方のこと。持ち上げて言ったり、お世辞を言う場合に。使用例:「奥さん、今日もべっぴんじゃね〜」「また、うまげーにゆーてから」
ばら	「べら」のさらに上をいく場合。「チョー」「めちゃめちゃ」「これはこれは」
よばれたんよ	「よばれる」= 食べ物を頂いたり、おごってもらうときに使用。(食べ物を)頂きます=「よばれよわい」
えずいて	「えずく」= 吐き気をもよおす、もよおしそう…中年男性が歯みがきの時に「おげっ」となる場合もこれ。
げぇあげたら	「えずいて」から更にひどくり、最終段階を迎えると、「げぇあげた」= 完全に嘔吐してしまった。

新居浜市内でも、ニュアンス、発音等は、地域、性別などで違います。また地域によって使う言葉、使わない言葉もあります。ひとくくりに「新居浜弁」とするのは大変おこがましいのですが、ご了承ください。ご意見・ご感想を、編集部までお寄せください。 メール **info@hoo-ja.com**

Ⓒ フリーペーパー Hoo-JA!
株式会社ホージャクリエイト